

「ゆく川の流れ」解釈するための 問 二三四題

授業の前には傍線注釈をして、次の間に解答しておくこと。情報共有化 Time を作るが、解答する時間では無い。内は、傍線注釈時に挿入するヒントである。

問一、次の漢字の読み方は？

1 棟 2 経て 3 仮の宿り

①問二、傍線注釈

①問三、「ずして」と同じ意味になる接続助詞は？

①問四、「もとの水」をもうちよつと詳しく説明して

②「……うたかたは《常にそこにあるように見えるが、よく見ると》かつ消え……」

②問五、「かつ消えかつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。」傍線注釈

問六、①と②はどちらも「無常」だが、どのような質の違いがあるか？

問七、「かくの」と「く、どうなの？」

問八、「たましきの」って「都」にかかる何？

問九、「棟を並べ、甍を争へる、高き、いやしき、人の住まひは」傍線注釈

問十、「甍を争へる」って具体的に何を争っているの？

問十一、「世々を経て尽きせぬものなれど」傍線注釈

問十二、「これ」とは何？現代語で

問十三、「まことかと尋ねれば、昔ありし家はまれなり」傍線注釈

問十四、傍線注釈

問十五、何が焼けたり何を作つたりしたの？

問十六、この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

問十七、この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

問十八、「これ」とは何？現代語で

問十九、「所も変はらず、人も多かれど」傍線注釈

問二十、「いにしへ見し人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり。」傍線注釈

問二十一、「いにしへ見し人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり。」この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

問二十二、傍線注釈

問二十三、この文は①、②の文のどちらに関連している？それはなぜ？

問二十四、「知らず」何を知らない？抜き出す。

問二十五、「いづ方より来たりて、いづ方へか去る。」傍線注釈

問二十六、「仮の宿り」：《無常なこの世の》仮住まいにすぎない家《について》

▼文法的説明（＝単語以上だつたら品詞分解）

◎：指示に従い答える

※何もついていないものはヒント

※「品詞分解」：単語に分け、それぞれの単語を文法的に説明すること。

①(a)▼「絶え」

③(b)▼「バ」とし「」

⑤⑤⑤
e ▼▼▼「絶
て尽
きせ
ぬ」

⑥「あるいは」：「或いは」と訳
さない！

⑧(9)▼「多かれど」

の(9)語を文法的に説明する

の(9)語を文法的に説明する

語を文法的に説明する

(11)問一十六、「たがためにか心を恼まし」傍線注釈

(11)問一十七、「何によりてか目を喜ばしむる」傍線注釈

(12)問一十八、「いはば朝顔の露に異ならず。」傍線注釈

(13)問二十九、傍線注釈

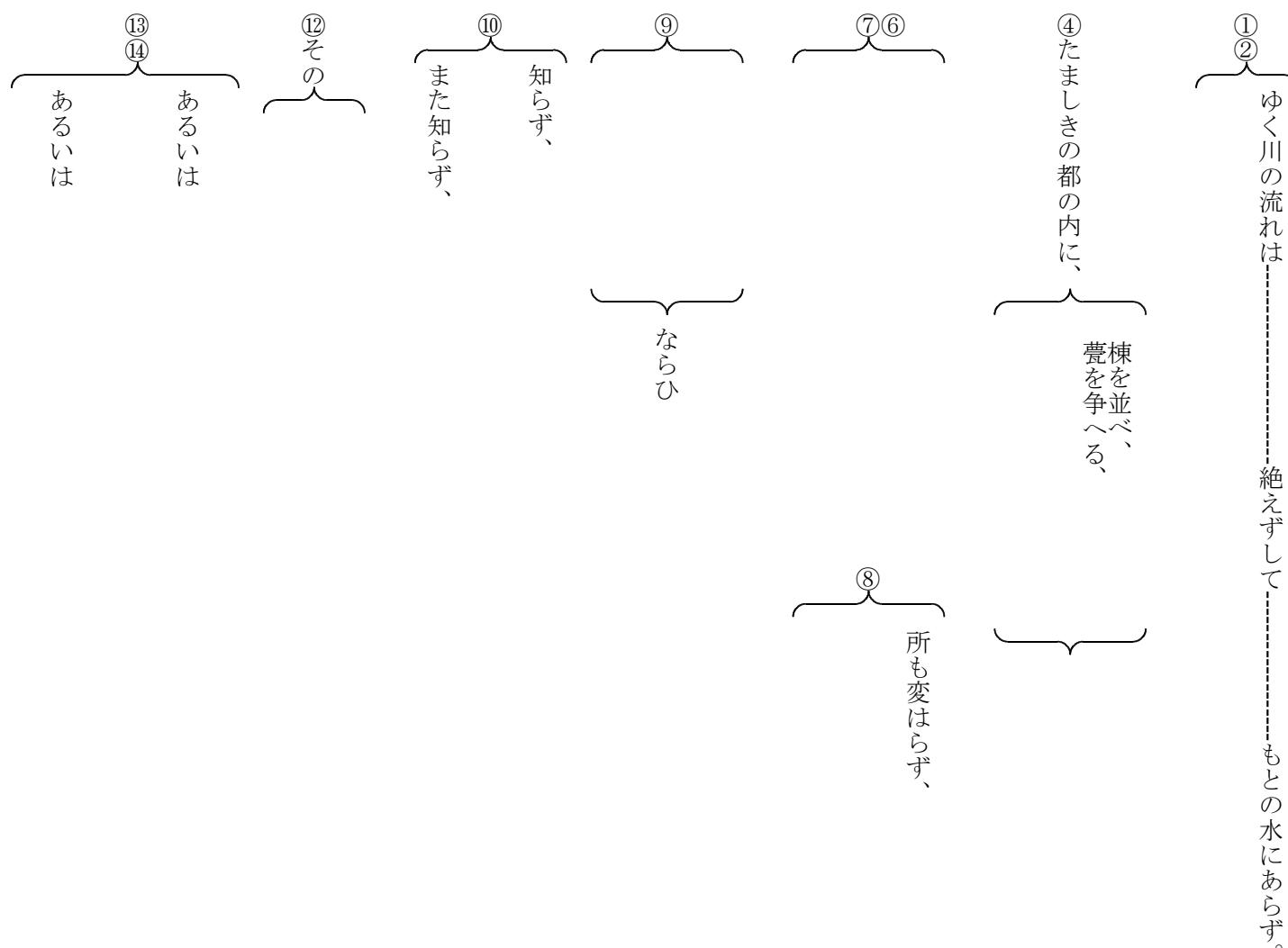
(14)問三十、「露なほ消えず」現代語訳

(14)問三十一、「消えずといへども夕べを待つことなし。」傍線注釈

(14)問三十二、「夕べを待つことな」くどうなの?

(12)～(14)問三十三、「朝顔」・「露」はそれぞれ何を指している?

問三十四、対句表現をまとめなさい。



(11)「係り結び(2)を指摘して、
結びの語を文法的に説明する

(13) (13)
▼ 「枯れぬ」